

竹田志郎(食品機能)、伊藤潤哉(分子生殖科学)、
寺川純平(ゲノム編集・疾患モデル)、大我政敏(生殖受精エピゲノム)

研究の背景

現代において、成人カップル5組に1組が**不妊症(赤ちゃんを望んでも妊娠に至らない)**に悩んでおり、深刻な社会問題の一つとなっています。体外受精などの技術の開発により妊娠できるケースもありますが、不妊症の半分以上は原因が不明であり現在の技術・知識では治療できません。

近年の研究で、ヒトでは「**膣内の乳酸菌の割合が多い女性が妊娠しやすい**」ということが分かってきました。乳酸菌はヨーグルト等に含まれる微生物です。また生殖器官中の乳酸菌を増やすためのサプリメントも注目されています。本プロジェクトではマウスまたは培養細胞を用いて、**乳酸菌が「不妊症の治療」や「妊娠しやすい体作り」に役立てられるか?**を解明するための研究を行っています。

アプローチ

現在、マウスや培養細胞を用いて、以下の研究を行っています。

研究①：乳酸菌またはサプリメントを投与することで高齢マウスの妊娠能力が改善するかどうか?

研究②：乳酸菌またはサプリメントは子宮炎症モデルで炎症を抑えるかどうか?

期待される結果

不妊改善につながる乳酸菌サプリメント開発につながることを期待されます。ヒトだけでなく、実験動物(マウス)や伴侶動物(イヌ・ネコ)さらには家畜(ブタ・ウシ)の繁殖や希少動物・動物園動物の繁殖にも役立てるかもしれません。

現状とこれから

5年前から本プロジェクトを立ち上げ、現在**A学科1名の学生さん**と進めています。これまでに、マウス膣由来試料から乳酸菌を見出すことができました。昨年度は、見出した乳酸菌について子宮炎症モデルでの炎症抑制効果について評価し、現在も進行中です(研究②に関連)。今後、見出した乳酸菌が生体(マウスなど実験動物)において効果があるかどうかの検討が望まれます。このプロジェクトにぜひ参加し、乳酸菌の新しいヒトへの効果効能、つまり**妊活用乳酸菌の発見**を一緒に目指しましょう!

求める学生像

選抜方法：学業成績および教員との面談(本プロジェクトへの**熱意**を重視します)

募集人数：～2名

連絡方法：学内G-mail

その他：実験動物(マウス)のハンドリング・解剖を行っていただく可能性があります。

学生に対するメッセージ：「**麻布大学から世界に研究成果を発信したい!**」と考え、真剣に研究に取り組んでいるグループです。

最先端の分野で研究競争に打ち勝つためにはハードな研究活動が必要

です。**高いモチベーション**と**大きな野望**をもった学生の応募を期待しています!



実験の流れ

